

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																																
中国デザイン専門学校	昭和52年3月18日	田口 一子	〒700-0842 岡山県岡山市北区船頭町12番地 (電話) 086-225-0791																																
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																																
学校法人 第一平田学園	昭和52年3月18日	平田 真一	〒700-0842 岡山県岡山市北区船頭町12番地 (電話) 086-225-0791																																
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																														
服飾・家政	服飾専門課程	ファッションデザイン科		平成7年文部科学省 告示第7号																															
学科の目的	本校のファッションデザイン科は、教育基本法及び学校教育法の趣旨にのっとり、ファッションデザインに関する専門的学術を教授し、その技術を修得させると共に、教養を高め、広く社会に貢献できる人物の育成を目的とし、あわせて地方文化の向上に寄与しようとするものである。また、ファッションデザイン分野の職業に就く為に必要な実践的かつ専門的能力を、本校独自の産学協同事業やインターンシップ等を企業等の連携を通じ育成することを目的とする。																																		
認定年月日	平成26年3月31日																																		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																												
3年	105単位以上		25単位	163単位	37単位	0単位	0単位																												
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																														
120人	21人	0人	2人	9人	11人																														
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～翌年3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 年度初めに全学生に配布する学生便覧レッスンのアウトラインに、授業科目ごとに明記。評価方法に関しては、「筆記試験及び作品提出の有無」。基準に関しては「具体的な評価基準」を科目ごとにそれぞれ明記。																															
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月20日～8月31日 ■冬季:12月21日～翌年1月7日 ■学年末:3月31日		卒業・進級条件	進級・卒業には年間35単位以上及び当該年次における全必修科目の取得を要する。また、卒業には総計105単位以上の取得を要する。																															
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任もしくは学科担当者からの定期的な連絡と情報把握。学校行事等への参加を促す。保護者への定期的な連絡。希望があれば個別学修指導。		課外活動	■課外活動の種類 ボランティア(清掃活動、献血協力、マラソン等) 専体連への参加 学友会組織 ■サークル活動:※ 同好会発 足に必要な条件を満たしていればサークル活動をおこなえる。 有																															
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(平成28年度卒業生) 企業名:株式会社ネクサス・有限会社ウエルズ・有限会社ナップ・シーユービー株式会社/有限会社キャピタル 業界:ファッション・アパレル・デニムジーンズ関連、企画・デザイナー・パタンナー・ファッションアドバイザー・製造・縫製・染色・加工等 ■就職指導内容 1年前期/修学基礎 1年後期/キャリアデザイン・企業見学 2年前期/就職ガイダンス①・ビジネスマナー・インターンシップ・ビジネスアプリーケーション 2年後期/適職テスト・就職ガイダンス②・コミュニケーションプロジェクト(企業交流会) 3年前期/就職ガイダンス③・CtoC企業ガイダンス(校内合同企業説明会)・就職ガイダンス④ ■卒業者数 : 7 人 ■就職希望者数 : 6 人 ■就職者数 : 5 人 ■就職率 : 83.3 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 71.4 % ■その他 ・進学者数:0人 (平成28年度卒業者に關する平成29年5月1日 時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等(平成28年度卒業者に關する平成29年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パターンメイキング技術検定2級</td> <td>③</td> <td>3人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>パターンメイキング技術検定3級</td> <td>③</td> <td>8人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>ファッションビジネス能力検定試験2級</td> <td>③</td> <td>6人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>ファッションビジネス能力検定試験3級</td> <td>③</td> <td>7人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>色彩士検定3級</td> <td>③</td> <td>7人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>ビジネス能力検定3級</td> <td>③</td> <td>10人</td> <td>7人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 倉敷ファッションフロンティア2016岡山県特別賞銅賞				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	パターンメイキング技術検定2級	③	3人	2人	パターンメイキング技術検定3級	③	8人	7人	ファッションビジネス能力検定試験2級	③	6人	3人	ファッションビジネス能力検定試験3級	③	7人	7人	色彩士検定3級	③	7人	1人	ビジネス能力検定3級	③	10人	7人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																																
パターンメイキング技術検定2級	③	3人	2人																																
パターンメイキング技術検定3級	③	8人	7人																																
ファッションビジネス能力検定試験2級	③	6人	3人																																
ファッションビジネス能力検定試験3級	③	7人	7人																																
色彩士検定3級	③	7人	1人																																
ビジネス能力検定3級	③	10人	7人																																
中途退学者	3	名	中退率	14.2 %																															
平成28年4月1日時点において、在学者21名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者18名(平成29年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由																																			

中途退学の現状	<p>「学校生活・学業不適応」「進路変更」「経済的事情」</p> <p>■中退防止・中退者支援のための取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の出身校を訪問した際には情報交換を行う等、教員によるきめ細かな指導の実施。 ・入学後4月中に担任がクラス学生全員と面談を行う。 ・年4回担任との定期面談。 ・3日連続授業欠席の学生に対しては3日目には必ず担任が連絡をする。 ・退学者の徴候とその対策指導チェックリスト(面談、指導記録)を作成。 ・月に1回教員ミーティングを開催し情報共有と指導支援について協議する。 ・保護者との連携強化。
経済的支援制度	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度： 有</p> <p>※有の場合、制度内容を記入</p> <p>国による授業料減免制度、特待生制度(第一平田学園特別奨励金)授業料の減免措置、入学金の減免措置、入学金・授業料以外の減免措置</p> <p>■専門実践教育訓練給付： 非給付対象</p> <p>※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載</p>
第三者による学校評価	<p>■民間の評価機関等から第三者評価： 無</p> <p>※有の場合、例えば以下について任意記載</p> <p>(評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)</p>
当該学科のホームページURL	<p>URL: http://www.cdc-de.ac.jp</p>

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。 ※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

職業実践専門課程の基本方針である、「高等学校における教育の基礎の上に、深く専門的な程度において専修学校の教育を施すにふさわしい授業科目を開設しなければならない。」を基にしたファッションデザイン分野の教育を目的としている。また、この目的に応じて、企業等の要請を十分に活かしつつ職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するために、ファッションデザイン分野企業等の密接な連携により、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組んでいる。また、学生の就職先の業界における人材の専門性に関する動向、国又は地域の産業振興の方向性、新産業の成長に伴い新たに必要となる実務に関する知識、技術、技能などを把握するため、教育編成委員会等の委員の所属先以外の企業等へのヒアリングやアンケート等を別途実施している。

本校独自の産学協同人材育成支援システム「CtoC System」

企業や地域との交流によるさまざまな実践体験は、学生たちの武器と考えます。

CHUGOKU DESIGN COLLEGE: 中国デザイン専門学校、COMPANY: 企業、COMMUNITY: 地域

「CtoC System」とは、本校と企業や地域を結ぶ情報ネットワークのことです。

業界の動向や人材育成についての最新情報を共有するためのプラットフォームとして、企業紹介やインターシップなどさまざまな活動を行っています。

企業紹介／求人依頼「Young DAM」

本校卒業生や企業間の求人・求職情報、ビジネスに関する提案などの提供とコーディネートを目的としています。即戦力になる人材や、短期間の技術アルバイト、パートの紹介にも対応。各関係者からの問い合わせは年々増えています。

企業紹介／制作依頼「DETCHE(デッチ)」

企業や地域からの仕事の依頼を受け、在校生が中心になって活動する新インターシップ制度です。

イベントの企画、デザイン制作、ショーへの協力など、学生の自由で豊かな発想を活かした取り組みが、高く評価されています。

企業紹介／交流イベント「CtoC Communication Project」

年に一度大々的に開催。CtoCの総決算ともいえる学生と教職員、企業間の交流イベント。

「Young DAM」「DETCHE」を通じて培った企業との連携をより確かなものにするために、年に1回開催する交流

イベント。本校と企業等、あるいは企業同士の情報交換や交流の場となっています。

企業紹介／合同説明会「CtoC就職ガイダンス」

岡山県下のデザイン／ファッション分野の企業の方々を目の前にする、就職面談同様のガイダンス。コミュニケーションを図ることにより就職への意識向上、マナーやプレゼン技術を実践的に試す機会として3年生を対象に5月に実施しています。

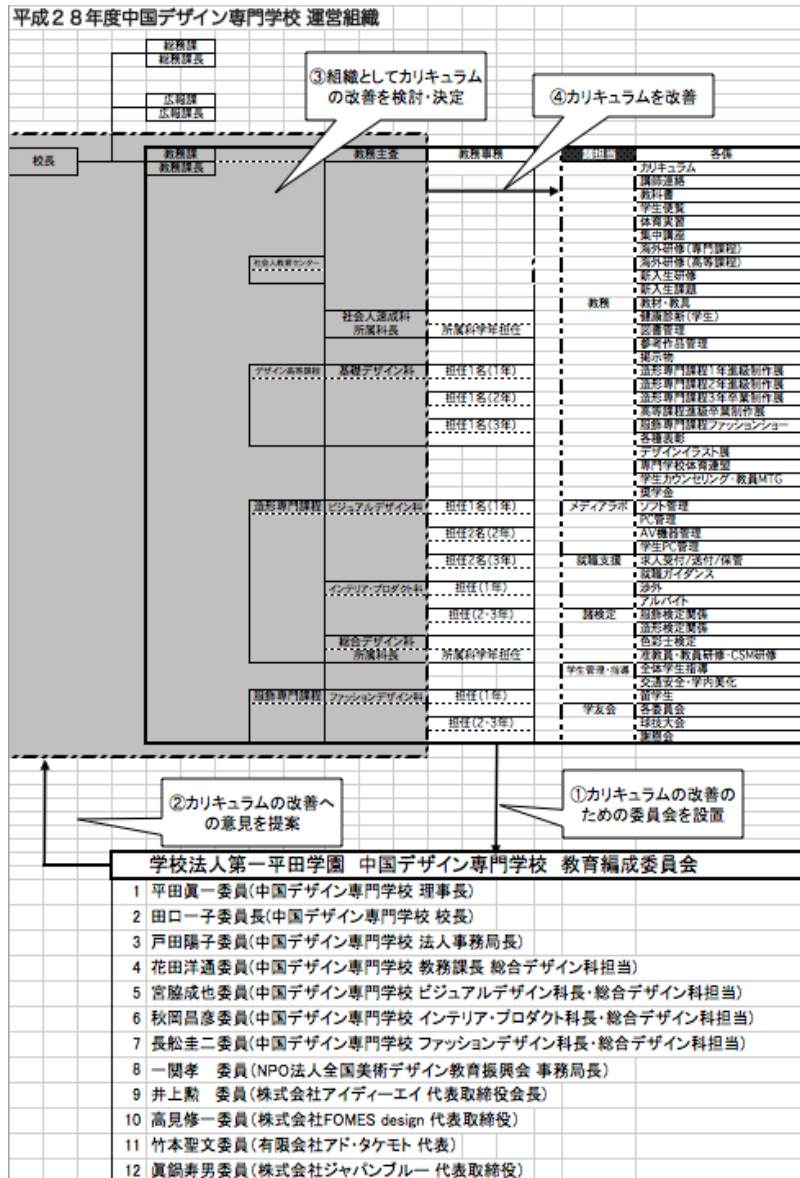
企業紹介／就業体験「インターシップ制度」

数多くの企業の方々にご協力いただき、社会に出て仕事を体験するインターシップ制度を充実させています。

ファッションデザイン科では2年次で2回、ビジュアルデザイン科インテリアプロダクト科では2年次に1回、

総合デザイン科では2年次に1回と4年次に2回インターシップを実施し、自らの目標の仕事に触れる機会を設けています。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年3月20日現在

名前	所属	任期	種別
一関 孝	NPO法人全国美術デザイン教育振興会 事務局長	平成27年4月1日～平成29年3月31日 (2年)	①
井上 勲	株式会社アイディーエイ 代表取締役会長	平成27年4月1日～平成29年3月31日 (2年)	③
高見 修一	株式会社FOMES design 代表取締役	平成27年4月1日～平成29年3月31日 (2年)	③
竹本 聖文	有限会社アド・タケモト 代表取締役	平成27年4月1日～平成29年3月31日 (2年)	③
眞鍋 寿男	株式会社ジャバンブルー 代表取締役	平成27年4月1日～平成29年3月31日 (2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年間2回以上の開催をしている。(開催時期:毎年8月上旬、1月中旬)

(開催日時)

第1回 平成28年8月5日 16:00～17:30 会場:本校会議室

第2回 平成29年1月18日 16:00～17:30 会場:本校会議室

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

教育編成委員会における意見としてアパレル企業・アパレルメーカーのグローバル化、世界に向けての発進力が必要とされているため、グローバルマーケティングの能力が必要とある。また、国内の市場性、特にファストファッション化するトレンド志向に沿った新しいカリキュラムに取り組むべきとの意見をいただいた。デザイン系授業ではアパレルビジネス論・商品企画基礎の基礎学を低学年時に学び、英会話の科目と合わせて、マーケット研究Ⅱの科目内にて、グローバル視点での企画内容作成し、最終発表の場としてアパレルビジネス企業5社に向けてプレゼンテーションに取り組むカリキュラムには評価をいただいた。ビジネス系授業では、巨大化するガールズトレンド市場に向けて新しいカリキュラムの設置としてファッションフォトⅡ科目内にて、タブロイド紙編集と合わせて、SNS販促ツール、ブログ販促のテクニックを学ぶカリキュラムにリサーチ力を強化するよう意見をいただいた。地場産業であるデニムジーンズに関するカリキュラムではH25年よりジーンズソムリエ資格検定をデニムパターン・デニムソーイング・デニム素材加工の授業内に新しく導入するカリキュラムには評価をいただいた。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等と本校の連携によるインターンシップや本校独自の企業等からの業務委託「DETC(デッチ)」を通じ、本校の学生にデザイン・ファッション分野企業の現場及び業務を経験させ、学内では得ることが困難な実践的で幅広い見識と実社会への適応性を身につけさせることを目的とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

本校2年次夏期と冬期休暇中の年2回、ファッション分野企業等におけるインターンシップ(1週間程度)を実施。また、本校独自の企業等からの業務委託「DETC(デッチ)」では次に定める項目を業務として実施している。

デザイン・ファッション分野企業等からの業務委託形式。

(1)コンペティション形式業務。

(2)現場実習形式業務。

(3)依頼制作形式業務。

(4)その他、協議のうえ別途合意した業務。

それぞれ学科内で組織的にカリキュラムや授業に落とし込み、担当教員は企業等のやりとり等の窓口は行うが学生の自主性を重んじ打合せや訪問等学生単身で行動させる。

上記すべての学修成果として企業等に終了後評価票を記入いただき、その反省改善点をまとめ学生へのフィードバック及び「教育の質の確保・向上」に向けて参考としている。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ライフデザイン③④⑤⑥	学生便覧を使い学校生活をおくる為の内容を指導。学校行事にも積極的に参加し、準備、計画、実行出来る様に指導。また企業連携・協同事業実習の為に校内外での活動をおこなう。企業連携ファッションショーなどの実習に取り組む。	株式会社ストラテジー
インターンシップ	夏期間の7月～8月にかけて、例年インターンシップ実習に取り組む。実習期間は5日～10日前後を設定。企業評価を受ける事を目的とする。	株式会社トンボ/PATTERN STUDIO SYNERGY/株式会社カイトック/株式会社ドミンゴ/株式会社さえら/kujaku/株式会社ネクサス
デニム素材加工Ⅱ	デニムの素材の特徴を的確に捉え、ダメージ加工、洗い加工の知識、技術を学ぶ。デニム特殊加工は専門企業との連携で専門技術を身につける。	株式会社ウエルズ
デニムソーイングⅤ	デニムストレッチ素材の特性、今後就職活動などに活用できるファイリングを作製する。縫製にはサンプル縫製/本生産縫製とあり、そこに必ず必要な仕様書(設計図)も合わせてファイリングする。学内での取り組み成果を企業連携商品開発を通じて、実習・発表・企業評価を受ける。	株式会社ウエルズ
デザイン画表現Ⅳ	早描きやデフォルメを取り入れ、オリジナリティ溢れる作品製作方法を学ぶ。またクライアントイメージの具現化訓練のため、学内での取り組み成果を企業連携商品開発を通じて、実習・発表・企業評価を受ける。	株式会社ストラテジー

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

本校は関連分野における先進的な知識・技能等を修得するために「教職員研修規定」を定め、教職員の研修等に組織的・継続的に取り組んでいる。(専攻分野における実務に関する知識、技術、技能を修得・向上するための研修と、授業及び学生に対する指導力等を修得・向上するための研修)年度始めに教職員全員が研修年間計画を作成提出する他、必要により所属長の命によって研修を指示する場合も研修費用は学校がバックアップし全体のレベルアップに努めている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

岡山県下家政系高等学校ファッションショーウォーキング指導講座 参加者:ファッションデザイン科 光辻典子

①平成28年6月22日岡山県立興陽高等学校 対象:被服デザイン科3年39名

②平成28年7月26日岡山県立総社高等学校 対象:家政科3年40名

③平成28年9月14日倉敷市立倉敷翔南高等学校 対象:ファッション造形選択者15名

④平成28年9月29日岡山県立勝間田高等学校 対象:被服デザイン系3年4名

⑤平成28年10月26日岡山県立高梁高等学校 対象:家政科3年9名

⑥平成28年11月2日岡山県立井原高等学校 対象:家政科3年14名

⑦平成28年11月9日岡山県立岡山南高等学校 対象:ファッションデザイン科3年37名

岡山県下家政系高等学校デザイン画指導講座 参加者:ファッションデザイン科 長船圭二

①平成28年6月15日・22日 岡山県立勝間田高等学校 対象:服飾デザイン系列2年6名

②平成28年8月29日・9月5日 倉敷市立倉敷翔南高等学校 対象:ファッションアパレル系列2年9名

③平成28年11月18日 岡山県立倉敷中央高等学校 対象:家政科2年40名

「児島ガールズコレクション」ファッションショーウォーキング&コーディネート指導研修

参加者:ファッションデザイン科 宮本真由美

平成28年5月13日 倉敷市児島JR駅構内 主催:児島商工会議所

岡山の専門学校による高校・出前講座 参加者:ファッションデザイン科 長船圭二

主催:一般社団法人岡山県専修学校各種学校振興会

平成28年6月6日 岡山県立鳥城高等学校昼間部・夜間部 対象:全学年計14名

平成28年度岡山県障害者技能競技大会(アビリンピック岡山大会)開催準備及び競技専門委員

参加者:ファッションデザイン科 宮本真由美

平成28年3月9日～6月25日 国立吉備高原職業リハビリテーションセンター

主催:独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 岡山支部

平成28年度「土曜日学習応援団参画企業 子ども霞が関見学デー」 参加者:ファッションデザイン科 長船圭二

平成28年7月27日～28日 主催:文部科学省他府省庁 会場:文部科学省庁舎

パターンメイキング研修「パンツは本当に難しい」 参加者:ファッションデザイン科 宮本真由美

平成28年8月27日 主催:日本モデリスト協会

平成28年度パターンメイキング技術実技検定試験3級試験監督依頼 参加者:ファッションデザイン科 宮本真由美

平成28年9月10日 主催:日本ファッション教育振興会 会場:岡山ファッションスクール

平成28年度メイクアップ技能検定2級試験対策セミナー 参加者:ファッションデザイン科 橋本典子

平成28年9月11日 主催:社団法人JMA大阪

テキスタイル付属企業訪問 参加者:ファッションデザイン科 宮本真由美

平成28年9月15日 訪問先:株式会社コーラル(大阪市) 日本紐釦貿易株式会社(大阪市)

平成28年度メイクアップ技能検定2級試験受験 参加者:ファッションデザイン科 橋本典子

平成28年9月25日 主催:社団法人JMA大阪

ベストジーニスト 2016 授賞式見学 参加者:ファッションデザイン科 宮本真由美

平成28年10月11日 主催:日本ジーンズ協議会

平成28年度ファッションデザイン科東京研修 参加者:ファッションデザイン科 宮本真由美 長船圭二

平成28年10月19日～20日 研修先:「Tokyo 新人デザイナーファッション大賞見学」「日暮里エリア 服飾資材視察」

「カフェメニューカラーージュ」出前講座 参加者:ファッションデザイン科 長船圭二

平成28年10月31日 西日本調理製菓専門学校 対象:パティシエ・ブランジュ科 42名

平成28年度「チャレンジワーク!お仕事体験 ファッションデザイナーになろう」 参加者:ファッションデザイン科 長船圭二

平成28年12月3日 会場:福田公民館 主催:岡山市立福田小学校

平成28年度文部科学省委託事業「ファッション分野における職業実践専門課程の質保証の評価」を推進する事業委員会

参加者:ファッションデザイン科 長船圭二

平成29年11月16日 会場:東京文化服装学院

平成28年度文部科学省委託事業「成長分野における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業視察報告会

参加者:ファッションデザイン科 長船圭二

平成29年2月20日 会場:学校法人ミクニ学園 大阪文化服装学院

平成28年度「学生募集セミナー 数字をあげる募集施策の最新トレンド」

参加者：ファッションデザイン科 長船圭二 橋本典子

平成29年3月10日 主催：(株)エデュース

②指導力の修得・向上のための研修等

①新採用・2・3年目教員の研修会(新人対象の教職員資質向上講座)参加者：教務 永田、中条・ビジュアルデザイン科 村木、松居、小林・総務 大屋 教務課長ビジュアルデザイン科花田 広報課長ファッションデザイン科長船 総務課長戸田 理事長 校長

第1回平成28年8月3日 テーマ「専修学校について、本校について」

第2回平成28年8月17日 テーマ「教員のあり方、学校職員のあり方について、入試について」

第3回平成28年8月31日 テーマ「研修会まとめと質疑応答」

②全体研修会(教職員意識の徹底、外部講師を招いてのテーマ研修)各1時間30分程度

平成28年4月15日 テーマ「選挙について特別講演会」

平成28年10月9日～11月27日 テーマ「岡山芸術交流」

平成28年10月14日 テーマ「スマートフォン・インターネットトラブル講話」

平成29年3月18日 テーマ「人気イラストレーター有満弘氏によるライブペイントセミナー」

③職業教育・キャリア教育に携わる全ての教職員のための「キャリア・サポーター養成講座(CSM講座)」

平成28年7月25日～27日 参加者：ビジュアルデザイン科小林明日香

主催：一般財団法人職業教育・キャリア教育財団 実施：岡山県専修学校教員研修委員会

④平成28年度専修学校教員教職課程研修

参加者：インテリアプロダクト科小松原・中山、ビジュアルデザイン科宮脇・松居・村木・花田・小林

平成28年7月20日～22日B類/平成28年7月25日～27日A類

主催：一般財団法人職業教育・キャリア教育財団 実施：岡山県専修学校教員研修委員会

⑤平成28年度全専各連中国地区協議会総会及び研修会 平成28年7月15日

参加者：ファッションデザイン科長船、ビジュアルデザイン科宮脇/花田、インテリア・プロダクト科秋岡、総務課戸田/岸本、広報課平田、理事長、校長

主催：全国専修学校学校各種学校総連合会中国地区協議会

⑥企業紹介／交流イベント「CtoC Communication Project」

※年に一度開催。CtoCの総決算ともいえる学生と教職員、企業間の交流イベント。「Young DAM」「DETCH」を通じて培った企業との連携をより確かなものにするために、年に1回開催する交流イベント。本校と企業等、あるいは企業同士の情報交換や交流の場。

平成28年度第16回「CtoC Communication Project」平成29年3月18日 テーマ「デニム・ジーンズ産業の今」

⑦「CLUB CtoC」※2ヶ月に一度開催。本校独自の企業・教職員との勉強会及び異業種交流会 各2時間程度

平成28年度第1回 平成28年6月24日 テーマ「企業×学生コラボレーション事業報告」

平成28年度第2回 平成28年8月6日 テーマ「真夏の花火スペシャル」

平成28年度第3回 平成28年12月16日 テーマ「話題の有るものを、確かめよう」

(3)研修等の計画

「教育の質の確保・向上を目的とした」教職員研修会と教員ミーティングを毎月行っている。

また、2ヶ月に一度開催している本校独自の企業・教職員との勉強会及び異業種交流会「CLUB CtoC」を15年以上行っている。

それぞれの研修会勉強会内にて企業等から講師を招いて教職員に対し関連分野における勉強会や学生指導、一般実務に関する知識、技術、技能などについて校内で組織的・継続的に行っている。また定期的に教職員研修会にて自主研修報告会を行い、教職員情報共有に努めている。

年間教員研修計画

- 専攻分野における実務に関する知識、技術、技能を修得・向上するための研修
- 授業及び学生に対する指導力等を修得・向上するための研修
- その他

①専攻分野における実務に関する研修等

自主研修(各自がテーマを決めて年度内の研修を自主的に行う)

◎ 分野別企業訪問(ファッション分野で注目の企業への訪問)

◎ 作品企画と自主作品制作及び発表

◎ 専門分野のイベントや講演会に参加し、専門知識・技術や最新情報の収集

◎ 専門家との交流・意見交換・情報提供の企画と実施

◎ 外部から依頼のあったファッション関連イベントにおける企画・運営及びシンポジウムパネリスト参加

②指導力の修得・向上のための研修等

- ① 新採用・3年目教員の学内研修会(新人対象の教職員資質向上講座:7月～8月までの計3回)
※内容-1回目「専修学校について、本校について」理事長・校長・2回目「教員のあり方、学校職員のあり方について」校長・総務課長・教務課長・広報課長、2回目終了後対象者約1000字程度のレポート作成「テーマ/本校教職員として学校へどう貢献すべきか」、3回目「レポート発表後研修会まとめと質疑応答」校長・総務課長・教務課長・広報課長
- ② 全体研修会(教職員意識の徹底、外部講師を招いてのテーマ研修:年2回程度)
- ③ 職業教育・キャリア教育に携わる全ての教職員のための「キャリア・サポーター養成講座(CSM講座)」※主催:一般財団法人職業教育・キャリア教育財団 実施:岡山県専修学校教員研修委員会 毎年7月下旬3日間開催
- ④ 専修学校教員教職課程研修A類(毎年7月下旬間開催)、B類(毎年7月中旬間開催)※主催:岡山県専修学校教員研修委員会
- ⑤ 全専各連中国地区協議会総会及び研修会※主催:一般財団法人職業教育・キャリア教育財団
- ⑥ 文部科学省補助事業 専修学校教育内容等改善研究協力校事業「中堅教員研修」科目:【教員のキャリアデザインワークショップ】【新任指導力】【学校の経営】【体系的カリキュラム・シラバス作成】【教育・指導力向上】【学級経営・学生対応】【リスクマネジメント】※主催:一般財団法人職業教育・キャリア教育財団
- ⑦ 企業紹介/交流イベント「CtoC Communication Project」※年に一度開催。CtoCの総決算ともいえる学生と教職員、企業間の交流イベント。「Young DAM」「DEATCH」を通じて培った企業との連携をより確かなものにするために、年に1回開催する交流イベント。本校と企業等、あるいは企業同士の情報交換や交流の場。
- ⑧ 「CLUB CtoC」※2ヶ月に一度開催。本校独自の企業・教職員との勉強会及び異業種交流会
- ⑨ 指示研修(必要により所属長の命によって研修を指示する)

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、学校関係者として、卒業生、保護者とともに、各専攻分野企業等から委員が参画した学校関係者評価委員会を設置。特に、企業等との密接な連携による取り組みを重要と考え、学校評価を通じた組織的・継続的な教育活等の改善を基本方針と考えている。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	1-1 理念・目的・育人人材像は定められているか 1-1-1 学校が教育を行う理念・目的・育人人材像などが、明確に定められているか 1-1-2 理念・目的・育人人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか 1-1-3 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか 1-1-4 理念・目的・育人人材像は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか 1-2 学校の特色はなにか 1-2-5 学校の比類ない特色として挙げられるものがあるか 1-3 学校の将来構想を抱いているか 1-3-6 学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想をいっているか
(2)学校運営	2-4 運営方針は定められているか 2-4-1 学校の目的、目標に基づき、学校運営方針は明確に定められているか 2-4-2 学校運営方針はきちんと教職員に明示され、伝わっているか 2-4-3 学校運営方針を基に、各種諸規定が整備されているか 2-5 事業計画は定められているか 2-5-4 学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められているか 2-5-5 学校は事業計画に沿って運営されているか 2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか 2-6-6 運営組織図はあるか 2-6-7 運営組織や意思決定機能は、学校の目的、目標を達成するための効率的なものになっているか 2-6-8 組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか 2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか 2-7-9 学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか 2-7-10 人事考課制度は整備されているか 2-7-11 昇進・昇格制度は整備されているか 2-7-12 賃金制度は整備されているか 2-7-13 採用制度は整備されているか 2-7-14 教職員の増減に関する情報を明確に把握しているか 2-8 意思決定システムは確立されているか 2-8-15 意思決定システムは確立されているか 2-8-16 意思決定プロセスのポイントとなる仕組み(会議等)が制度化されているか 2-8-17 意思決定の階層・権限等は明確か 2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか 2-9-18 業務効率化を図るシステム化がなされているか

(3)教育活動	<p>3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか</p> <p>3-10-1 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか</p> <p>3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、達成することが可能なレベルとして、明確に定められているか</p> <p>3-11-2 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達する事が可能なレベルとして、明確に定められているか</p> <p>3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか</p> <p>3-12-3 学科のカリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか</p> <p>3-12-4 カリキュラムの内容について、業界など外部者の意見を反映しているか</p> <p>3-12-5 カリキュラムを編成する体制は明確になっているか</p> <p>3-12-6 カリキュラムを定期的に見直しているか</p> <p>3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか</p> <p>3-13-7 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか</p> <p>3-13-8 各科目の指導内容、方法等を示したシラバスが作成されているか</p> <p>3-13-9 各科目の一コマの授業について、その授業のシラバスが作成されているか</p> <p>3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか</p> <p>3-14-10 学生による授業評価を実施しているか</p> <p>3-14-11 授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか</p> <p>3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか</p> <p>3-15-12 学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件(専門性・人間性・教授力・必要資格等)を備えた教員を確保しているか</p> <p>3-15-13 教員の専門性レベルは、業界レベルに十分対応しているか</p> <p>3-15-14 教員の専門性を適宜把握し、評価しているか</p> <p>3-15-15 教員の専門性を向上させる研修を行っているか 3-1</p> <p>3-15-16 教員の教授力(インストラクションスキル)を適宜把握し、評価しているか</p> <p>3-15-17 教員の教授力(インストラクションスキル)を向上させる研修を行っているか</p> <p>3-15-18 教員間(非常勤講師も含めて)で適切に協業しているか</p> <p>3-15-19 非常勤講師間で適切に協業しているか</p> <p>3-15-20 非常勤講師の採用基準は明確か</p> <p>3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか</p> <p>3-16-21 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか</p> <p>3-16-22 他の高等教育機関との間の単位互換に関する明確な基準があるか</p> <p>3-17 資格取得の指導体制はあるか</p> <p>3-17-23 目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか</p> <p>3-17-24 目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか</p> <p>3-18 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか</p> <p>3-18-25 キャリア教育が行われているか</p> <p>3-18-26 キャリア教育の実効性は検証されているか</p>
(4)学修成果	<p>4-19 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか</p> <p>4-19-1 学生の就職に関する目標を達成したか</p> <p>4-19-2 就職成果との推移に関する情報を明確に把握しているか</p> <p>4-20 資格取得に関する目標を達成したか</p> <p>4-20-3 資格取得に関する目標を達成したか</p> <p>4-20-4 資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか</p> <p>4-21 退学率の低減に関する目標を達成したか</p> <p>4-21-5 退学率の低減に関する目標を達成したか</p> <p>4-21-6 入退学者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか</p> <p>4-22 卒業生・在校生は社会で活躍し、評価を得ているか</p> <p>4-22-7 卒業生は社会で活躍し、評価を得ているか</p> <p>4-22-8 卒業生の例として特筆すべきものを記述できるか</p> <p>4-22-9 在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価されたか</p> <p>4-22-10 在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価された例として特筆すべきものを記述できるか</p>

<p>(5) 学生支援</p>	<p>5-23 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか 5-23-1 学生の就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか 5-23-2 就職に関する説明会を実施しているか 5-23-3 就職に関する学生個別相談を実施しているか 5-23-4 就職の具体的活動(履歴書の書き方など)に関する指導を実施しているか 5-24 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか 5-24-5 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか 5-24-6 学生相談室を開設しているか 5-24-7 学生からの相談に応じる専用カウンセラーがいるか 5-24-8 留学生に対する学生相談体制は整備され、有効に機能しているか 5-25 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか 5-25-9 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか 5-25-10 奨学金制度が整備され、有効に機能しているか 5-25-11 学費の分納制度等、学生を経済的に支援する制度が整備され、有効に機能しているか 5-26 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか 5-26-12 定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制はあるか 5-26-13 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか 5-26-14 学生からの健康相談等に専門に応じる医師・看護師等がいるか 5-27 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか 5-27-15 スポーツ等のクラブ活動、ボランティア活動その他、課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか 5-28 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか 5-28-16 遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか 5-29 保護者と適切に連携しているか 5-29-17 保護者と適切に連携しているか 5-30 卒業生への支援体制はあるか 5-30-18 同窓会が組織化され、活発な活動をしているか 5-30-19 卒業生をフォローアップする体制が整備され、有効に機能しているか</p>
<p>(6) 教育環境</p>	<p>6-31 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応出来るよう整備されているか 6-31-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応出来るよう整備されているか 6-31-2 施設・設備のメンテナンス体制が整備され、有効に機能しているか 6-31-3 施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りに更新しているか 6-32 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか 6-32-4 学外実習、インターンシップ、海外研修等について外部の関係機関と連携し、十分な教育体制を整備しているか 6-32-5 学外実習、インターンシップ、海外研修等について、その実績を把握し教育効果を確認しているか 6-33 防災に対する体制は整備されているか 6-33-6 防災に対する体制は整備され、有効に機能しているか 6-33-7 災害を起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられているか 6-33-8 実習時等の事故防止の体制は十分か 6-33-9 万が一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなっているか 6-33-10 防災訓練を実施しているか</p>
<p>(7) 学生の受入れ募集</p>	<p>7-34 学生募集活動は適正に行われているか 7-34-1 学生募集活動は適正に行われているか 7-34-2 学校案内等は志望者・保護者等の立場に立った分かり易いものとなっているか 7-34-3 志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制があるか 7-34-4 募集定員を満す募集活動となっているか 7-35 就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍の教育成果は、学生募集に貢献したか 7-35-5 就職実績、資格取得実績、卒業生の教育成果は、学生募集に貢献したか 7-35-6 卒業生の活躍の教育成果が学生募集に貢献したかどうか正しく認識する根拠を持っているか 7-36 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか 7-36-7 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか 7-36-8 入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか 7-37 学納金は妥当なものとなっているか 7-37-9 学納金は、教育内容、学生および保護者の負担感等を考慮し、妥当なものとなっているか 7-37-10 学納金に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか</p>

(8)財務	8-38 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか 8-38-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか 8-38-2 主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか 8-39 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか 8-39-3 年度予算、中間計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとなっているか 8-39-4 予算は計画に従って妥当に執行されているか 8-40 財務について会計監査が適正に行われているか 8-40-5 財務について会計監査が適正に行われているか 8-40-6 会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものか 8-41 財務情報公開の体制整備はできているか 8-41-7 私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか 8-41-8 私立学校法における財務情報公開の形式は考えられているか
(9)法令等の遵守	9-42 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか 9-42-1 法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされているか 9-42-2 法令や専修学校設置基準の遵守に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか 9-43 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか 9-43-3 志願者、学生や卒業生および教職員等学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか 9-43-4 個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか 9-44 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか 9-44-5 自己点検・自己評価を定期的に実施し、問題点の改善に努めているか 9-44-6 自己点検・自己評価に関する方針は確立されているか 9-44-7 自己点検・自己評価に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか 9-45 自己点検・自己評価結果の公開はしているか 9-45-8 自己点検・自己評価結果は公開しているか 9-45-9 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は確立されているか 9-45-10 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか
(10)社会貢献・地域貢献	10-46 教育資源を活かした社会貢献 10-46-1 教育資源を活かした社会貢献をしているか 10-47 ボランティア活動の支援 10-47-2 ボランティア活動の支援をしているか
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者者の評価結果や改善方策等のうち、特に企業等から参画した委員の意見については、学科の「カリキュラムや授業等の作成・見直し等」「産学官連携によるインターンシップ、実習等」「教職員の研修等」の教育活動やその他「教育理念・目的・育人人材像」「学生支援」等学校運営の改善等に活かせるよう考え取り組んでいる。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年3月20日現在

名前	所属	任期	種別
井上 勲	株式会社アイディーエイ 代表取締役会長	平成27年4月1日～平成29年3月31日 (2年)	企業等委員
高見 修一	株式会社FOMES design 代表取締役	平成27年4月1日～平成29年3月31日 (2年)	企業等委員
竹本 聖文	有限会社アド・タケモト 代表取締役	平成27年4月1日～平成29年3月31日 (2年)	企業等委員
眞鍋 寿男	株式会社ジャパングループ 代表取締役	平成27年4月1日～平成29年3月31日 (2年)	企業等委員
丹生 恵子	中国デザイン専門学校 教育助成会 会長	平成27年4月1日～平成29年3月31日 (2年)	PTA
藤若 典弘	有限会社ヴィジョンイメージファクトリー 代表取締役	平成27年4月1日～平成29年3月31日 (2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(◎ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <http://www.cdc-de.ac.jp/info/release/>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の学生が、どのようなカリキュラムを通じて知識・技術・技能を修得しているのか、また、質の高い教育プログラムを提供するために、学校としてどのような工夫・改善に取り組んでいるか等を具体的な教育情報を分かりやすく公表し、本校の特色ある教育活動を積極的に発信している。さらに、本校の基本的な教育組織等に関する情報のほか、教育情報の積極的な公表を通じて、本校教育の質の確保・向上を図ることが重要と考えている。以上情報提供の基本方針として取り組んでいる。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	<ul style="list-style-type: none"> ●学校の教育・人材養成の目標及び教育指導計画、経営方針、特色 ●校長名、所在地、連絡先等 ●学校の沿革、歴史
(2)各学科等の教育	<ul style="list-style-type: none"> ●入学者に関する受入れ方針及び入学者数、収容定員、在学学生数 ●カリキュラム(科目配当表(科目編成・授業時間数)、時間割、使用する教材など授業方法及び内容、年間の授業計画) ●進級・卒業の要件等(成績評価基準、卒業・修了の認定基準等) ●学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等 ●資格取得、検定試験合格等の実績 ●卒業生数、卒業後の進路(進学者数・主な進学先、就職者数・主な就職先)
(3)教職員	<ul style="list-style-type: none"> ●教職員数(職名別) ●教職員の組織、教員の専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	<ul style="list-style-type: none"> ●キャリア教育への取組状況 ●実習・実技等の取組状況 ●就職支援等への取組支援
(5)様々な教育活動・教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ●学校行事への取組状況 ●課外活動(部活動、サークル活動、ボランティア活動等)
(6)学生の生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ●学生支援への取組状況
(7)学生納付金・修学支援	<ul style="list-style-type: none"> ●学生納付金の取扱い(金額、納入時期等) ●活用できる経済的支援措置の内容等(奨学金、授業料減免等の案内等)
(8)学校の財務	<ul style="list-style-type: none"> ●貸借対照表、収支計算書
(9)学校評価	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価・学校関係者評価の結果 ●評価結果を踏まえた改善方針
(10)国際連携の状況	
(11)その他	<ul style="list-style-type: none"> ●学校運営の状況に関するその他の情報

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(◎ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <http://www.cdc-de.ac.jp/info/release/>

授業科目等の概要

(服飾専門課程ファッションデザイン科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			体育実習	夏期、冬期に分かれ、3日間の集中講座を行う。履修者はバドミントン、スキー、スノーボードから選択する。どの科目も基礎的なフォームから学び、初級、中級、上級コースで自分にあったレベルの技術を習得する。	1	30	1			○	○	○			
		○	夏期集中講座	通常授業にはない各専門分野に特化した授業内容を3日間の実習または講義形式で行う。	1前	60	2			○	○		○		
		○	冬期集中講座	通常授業にはない各専門分野に特化した授業内容を3日間の実習または講義形式で行う。	1後	30	1			○	○		○		
		○	SHR	学校生活における必要な連絡事項などをクラスごとに告知をする。	1	60	2			○	○		○		
		○	ベーシックデザイン(デッサン)	デッサンは全ての美術がデザインを学ぶ上で、基礎となる観察力や感性を養い、自分のデッサンを見て、どこがどうなのか基本を実習をとおして習得する。	1前	30	2	○		○			○		

○		パターンゼミ I	人体を用いて各部位の採寸方法を学んだ後、1/4縮尺原型と縮尺定規を使用し、シャツ（レディース、メンズ）、パンツなどを製図。人体は丸みを帯びているので、ダーツを取りながら体に沿ったパターンを作る。その為、ダーツ位置やダーツ移動などを学んでいく。	1 前	45	3			○	○	○							
	○	アイテムソーイング・ディテールソーイング	シーチングを使い、スカート・パンツ制作の縮尺パターンのおこし方、縫製の順序を教科書に沿って、作っていく。また各種ミシンの使い方や基礎知識も同時に学ぶ。	1 前	60	4			○	○	○							
	○	ドレスメーカー入門 I	ウェディングドレスのデザインからパターンメイキング、組み立てなど一貫した制作工程の基礎を学ぶ。	1 前	45	3			○	○	○							
	○	デニムソーイング入門 I	基本の5Pデニムパンツの縫製、組み立て方法を学ぶながら、各種特殊縫製ミシンについての操作方法を身につける。	1 前	45	3			○	○								○
	○	英会話 I	まずは自分の事を説明できるようになるために基本的な情報（出身、血液型、星座）、興味のあることなどを表現し、名刺を作成、交換する。基礎的な会話をゲームなどを通して体験し、話す。	1 前	15	1			○		○							○
	○	ファッション基礎/服装史	ファッション業界に携わる者として、知っておくべき服種などの基礎知識や基本的な業界のしくみについて学習する。映像や写真を通して、古来に出現した歴史上のファッションを学ぶことで、クリエイティブな発想の原点を理解し、時代の背景がファッションの背景であることを意識することを目指す。また、個人的な研究も含め、学習していく。	1 前	30	2			○		○							○
	○	ベーシックデザイン（色彩）	手作業による作品制作を通じて魅力的なビジュアル表現を目指し、色彩に関する基礎知識を習得し、（色彩士検定3級合格レベル）配色センス、及びデザイン能力の向上を目標に学習を進めていく。	1 前	30	2			○		○							○

		○	ファッション ビジネス検定 I	教科書と問題集を使い、検定対策を中心とした内容と企画、販売、バイヤー等に必要とされる基礎知識を講義形式指導。	1 前	30	2	○			○		○			
		○	ライフデザイン ①	学生便覧を使い学校生活をおくる為の内容を指導。学校行事にも積極的に参加し、準備、計画、実行出来る様に指導。また企業連携・協同事業実習の為に校内外での活動をおこなう。企業連携ファッションショーなどの実習に取り組む。	1 前	30	1				○	○		○		
		○	ヘア・メイ ク・ネイル I	皮膚科学理論及びスキンケア理論、色彩理論、ヘアメイクアップの基礎知識を学習する。2・3年生との複式授業。2・3年生を手本として、常に相モデルでメイクに取り組み、簡単なヘアアレンジ、アクリル絵具を使用しネイルアート作品が作れる学習する。	1 前	45	3			○		○			○	
○			修学基礎	学校を知る…学生便覧や先生方のお話、先輩からのお話を聞き本校での生活や学習方法を学ぶ。●コミュニケーション能力の向上…テキスト「やる気の根っこ」を使ってグループワークをする●社会への興味…学外の講師を招いて講義を受けたり、お話を聞いたりする。外部に見学に行くこともある。●以上を学んだ上で卒業後の自分の将来像を考える。	1 前	15	1	○				○		○		
		○	美容検定 I	ネイリスト技能検定3級合格を目指して学習。ネイリストベーシックのマスター。ネイルケア、アート。メイクアップ技術検定4級合格を目指して学習。皮膚のしくみ、ゴールデンプロポーション、顔の分析、色彩など基礎知識を学習。	1 前	30	2			○		○			○	
○			色彩士検定	色彩に関する基本的な知識を身につけ、色彩士検定3級合格を目指す。	1 前	15	1	○				○		○		
○			デザイン概論	教科書「クリエイティブ・アイデアのヒミツとヒケツ」を使用した講義。	1 前	15	1	○				○		○		

			○	デザイン画表現Ⅰ	8頭身のプロポーション(直立・片足重心)の描き方。素材別の表現方法(5種)。テーマ別デザイン発想法(2種)を学習する。	1 後	30	2			○	○				○	
			○	ヘア・メイク・ネイルⅡ	1920年代、1950年代、1960年代のヘアメイクを振り返りながら基礎を学ぶ。2・3年生との複式授業。テーマ別にメイクアップに取り組みヘアアレンジが出来るよう学習する。アクリル絵具、ラインストーンなどを使ってネイルアート制作に取り組む。	1 後	45	3			○	○				○	
			○	パターンゼミⅡ	前期ではパターンを引く手順や仕組み考え方を学んだが、後期ではダーツを操作したデザインバリエーションを学んでいく。また、より体を意識したラインを作る為のパターン制作をしながら、パターンに対する柔軟な考え方を養う。	1 後	45	3			○	○			○		
		○		マテリアル	マテリアルとは「素材」、つまりファッションにおいては「布」について学ぶ科目である。布についての知識は、ファッションに携わる全ての職種に必要なものであり、本授業はファッション業界の入門編と言えるだろう。繊維・糸・布の構成・加工など、布に関わる基礎知識を学んで、実際の布地を収集したマテリアルファイルを作成する。	1 後	30	2		○			○				○
		○		進級制作Ⅰ①	重衣料(アウター・コート)を基本としたアイテムをテーマに作品作りを行う。ファッションショー形式での発表の為の企画立案からスタイリングまで学ぶ。また企業連携・協同事業実習の為に校内外での活動をおこなう。企業連携ファッションショーなどの実習に取り組む。	1 後	90	3					○	○			○
		○		進級制作Ⅰ②	重衣料(アウター・コート)を基本としたアイテムをテーマに作品作りを行う。ファッションショー形式での発表の為の企画立案からスタイリングまで学ぶ。また企業連携・協同事業実習の為に校内外での活動をおこなう。企業連携ファッションショーなどの実習に取り組む。	1 後	30	1					○	○			○
		○		デニム素材加工入門	パンツのデザインとして、加工を含めた提案をしていく。パンツのシルエット、ディテール、加工によるトータルの商品開発一連の流れを学ぶ。	1 後	30	2			○			○			○

		○	マーチャング デザイン入門	アパレル商品企画を通じてターゲット設定からデザイン企画まで、一連の流れを学びます。	1 後	45	3			○	△	○	○		
		○	デニムソーイ ング入門Ⅱ	特殊ミシンに慣れること。デニム教室を使用するにあたり、ルールやマナーが守れるようになる。始業時の電源入れと終業時のミシンのスイッチの切り忘れがないか確認する事。	1 後	45	3			○		○			○
		○	ファッション デジタルⅠ	ハードの基本的操作方法からバックアップ方法などを学び、adobe Illustratorではベジェ曲線を学び、基本的オブジェクトの編集方法を学ぶ・adobe Photoshopでは基本ツールの操作方法とブラシツールでの着彩を学ぶ。	1 後	30	2			○		○			○
		○	アパレルCA DⅠ	コンピュータの操作方法・システムの一連の流れを実際のパターンを作りながら説明。	1 後	30	2			○		○			○
		○	ドレスメイ キング入門Ⅱ	ウェディングドレスのデザインからパターンメイキング、組み立てなど一貫した制作工程の基礎を学ぶ。	1 後	45	3			○		○			○
		○	ライフデザ イン②	学生便覧を使い学校生活をおくる為の内容を指導。学校行事にも積極的に参加し、準備、計画、実行出来る様に指導。また企業連携・協同事業実習の為に校内外での活動をおこなう。企業連携ファッションショーなどの実習に取り組む。	1 後	30	1					○	○		○
○			キャリアデザ イン	就職に対する情報収集、活動内容を知る。仕事について深く知っていく。	1 後	15	1			○		○			○

		○	夏期集中講座	通常授業にはない各専門分野に特化した授業内容を3日間の実習または講義形式で行う。	2 前	60	2				○	○					○	
		○	冬期集中講座	通常授業にはない各専門分野に特化した授業内容を3日間の実習または講義形式で行う。	2 後	30	1				○	○					○	
○			インターンシップ I	夏期期間の7月～8月にかけて、例年インターンシップ実習に取り組む。実習期間は5日～10日前後を設定。企業評価を受ける事を目的とする。	2 前	15	1				○		○				○	○
		○	SHR	学校生活における必要な連絡事項などをクラスごとに告知をする。	2	60	2				○	○					○	
	○		デザイン画表現 II	1年次で身に付けたデザイン表現とフレイションの確認をしつつ新しい技術及び画材での表現方法を学ぶ。コンテストにチャレンジし、入賞を目的としたデザイン及びデザイン画製作を目指す。	2 前	30	2				○		○					○
		○	アパレルCAD II	原型を使ってマスターパターンの制作。パターンメイキングの基本操作をマスターする。	2 前	30	2				○		○					○
		○	工業パターン入門	PM検定まではガイドブックの内容の理解を深めていく。PM検定終了後はテーラードジャケット（総裏付き）のファーストパターンを手作業で生地の厚み分、内回り・外回りを加味した量産用工業パターンを作っていく。	2 前	45	3				○		○					○

		○	ライフデザイン③	球技大会や学園祭などその他イベントに向けての制作活動。及び企業連携・協同事業実習の為に校内外での活動をおこなう。企業連携ファッションショーなどの実習に取り組む。	2 前	30	1				○	○	○	○
		○	デニムソーイングⅡ	ストレッチ素材の特性、今後就職活動などに活用できるファイングを作製する。縫製にはサンプル縫製/本生産縫製とあり、そこに必ず必要な仕様書(設計図)も合わせてファイングする。校内での取り組み成果を企業連携商品開発を通じて、実習・発表・企業評価を受ける。	2 前	45	3				○	○	○	○
		○	パターンゼミⅢ	基本原型を使って着込み分・体に対するゆるみ分を考え、バランスの取れた基本シルエットの出し方を学び、基本的な衿の考え方、二枚袖の考え方を足していき色々なジャケットの製図が出来るようになる。	2 前	45	3				○	○	○	○
		○	ファッションデジタルⅡ	Adobe Illustrator・Photoshopを使用し、中級レベルのテキスト入力・レイアウト・写真画像処理・印刷などを学ぶ。各授業毎のテーマに従い、課題制作を完成させていく。	2 前	15	1				○	○	○	○
		○	ファッションビジネス検定Ⅲ	ファッションビジネス能力検定2級対応テキストおよび、問題集を使用し「ファッションビジネス科目」を中心に講座を進める。検定対策として「ファッションビジネス能力検定2級問題集」にて復習をおこなう。	2 前	30	2				○	○	○	○
○			マーケット研究Ⅰ	消費者の意識変化、マーケットのとらえ方、調査分析の仕方。業界紙の読み方・発送方法とプレゼンテーションの仕方。グローバルの中作り手と売り手の中でのデザイン・MD。	2 前	15	1			○	△	○	○	○
		○	ドレスメイキングⅠ	ウェディングドレスのデザインからパターンメイキング、組み立てなど一貫した制作工程を学ぶ。ブライダルコーディネート技術を習得する。	2 前	45	3				○	○	○	○

		○ アイテムソーイングⅡ	シャツ、タイトスカートの工業用パターンを使用し、裁断方法や量産型の縫製手順を学び、技術を習得する。	2前	60	4			○	○	○			
○		立体裁断	トワールやシルクピンの扱い方、立体から製図をおこすことができるように学習する。	2前	30	2			○	○				○
		○ デニムパターンⅠ	デニム教材、ジーンズパターン・仕様書・縫製テキストをもとに脇線基準のボタンフライ仕様のパターン作成と中心線基準のジッパー仕様のパターン作成とそれぞれの仕様書を作成。	2前	30	2			○	○				○
		○ ヘア・メイク・ネイルⅢ	1・3年生との複式授業である。常に基本を復習し、ゴールデンポジションを意識しながらイメージ別でヘア・メイクに取り組む。アクリル絵具、ストーンを使ってネイルアートを製作。ネイルア(検定3級)。学園祭ではヘア・メイクショーができるよう企画していく。	2前	45	3			○	○				○
		○ 美容検定Ⅱ	ネイリスト技能検定3級合格を目指して学習。ネイリストベーシックのマスター。ネイルケア、アート。メイクアップ技術検定4級合格を目指して学習。皮膚のしくみ、ゴールデンプロポジション、顔の分析、色彩など基礎知識を学習。	2前	30	2			○	○				○
○		ビジネスマナーa	ビジネス能力検定3級テキストを使用しながら、グループワークにも取り組む。	2前	15	1			○		○			○
		○ 情報デザイン検定	J検情報デザイン試験公式テキストを使用しながら、過去問題を解き知識を習得する。	2前	15	1			○		○		○	

		○	デザイン画表現Ⅲ	デザイン画における素材やディテール等の表現力向上を目指し、デザイン発想のポイント及び、まとめ方・仕上げ方を学ぶ。就活用自己プレゼン作品資料をメインに制作。	2後	30	2			○	○					○
		○	サンプルメイキングⅠ	前期の工業パターンで作成したパターンを使用し、実際アパレル企業サンプル室で採用されている 裁断、縫製手順、工程でジャケット1着を縫い上げることでサンプルメイキングに必要な知識・技術を学ぶ。	2後	45	3			○	○					○
		○	アパレルCADⅢ	前期からのレベルアップを目指し複合機能・縫い付の操作説明	2後	30	2			○	○					○
○			進級制作Ⅱ①	前期の過程で決定したデザインに基づき、パターンメイキング、裁断、縫製、フィッティング、コーディネートまで1連の流れで制作をしていく。それと同時にショー構成、音楽、演出、ヘアメイクなど各担当がリーダーシップをとり、ショー全体の企画を行う。また企業連携・協同事業実習の為に校外での活動をおこなう。企業連携ファッションショーなどの実習に取り組む。	2後	90	3			○	○					○
○			進級制作Ⅱ②	前期の過程で決定したデザインに基づき、パターンメイキング、裁断、縫製、フィッティング、コーディネートまで1連の流れで制作をしていく。それと同時にショー構成、音楽、演出、ヘアメイクなど各担当がリーダーシップをとり、ショー全体の企画を行う。	2後	30	1			○	○					○
		○	パターンゼミⅣ	基本原型を使って着込み分・体に対するゆるみ分を考え、バランスの取れた基本シルエットの出し方を学び、基本的な衿の考え方、二枚袖の考え方を足していき色々なジャケットの製図が出来るようになる。	2後	45	3			○	○					○
		○	デニムソーイングⅢ	デザインと仕様書とパターンの組み合わせを学ぶ。	2後	45	3			○	○					○

		○	ファッションデジタルⅢ	Adobe Illustrator・Photoshopを使用し、前期での内容をふまえ、より高度かつ複雑な制作物に取り組む。	2後	30	2			○	○	○							
		○	マーチャングデザイン演習Ⅰ	アパレル商品企画を通じてターゲット設定からデザイン企画まで、一連の流れを学びます。パソコンを使用して企画書類を作成します。	2後	30	2			○	△	○	○						
		○	デニム素材加工Ⅰ	パンツのデザインとして、加工を含めた提案をしていく。パンツのシルエット、ディテール、加工によるトータルの商品開発一連の流れを学ぶ。	2後	30	2			○		○							○
		○	ヘア・メイク・ネイルⅣ	1・3年生との複式授業。3年生は総まとめとしてヘア・メイク・ネイルアートを自由な発想で取り組み写真撮影を行う。また、2・3年生合同でファッションショーへ向けてヘア・メイクの企画、提案をし、コミュニケーション力を学んでいく。	2後	45	3			○		○							○
		○	ドレスメイキングⅡ	ウェディングドレスのデザインからパターンメイキング、組み立てなど一貫した制作工程を学ぶ。ブライダルコーディネート技術を習得する。	2後	45	3			○		○							○
		○	ショップ企画入門	基本的マーケティングショップおよび、ショップリサーチ用のテキストを使用する。ターゲットと店舗を決定後、マーケティングリサーチ、ショップリサーチを繰り返しおこなうことで、定点観察、シーズン別観察をおこなう。ターゲットショップを2店舗設定し、グラフィックソフトを使用してA3サイズのプレゼンボードを制作する。	2後	30	2			○	△	○							○
○			マーケット研究Ⅱ	消費者の意識変化、マーケットのとらえ方、調査分析の仕方。業界紙の読み方・発送方法とプレゼンテーションの仕方。グローバルの中作り手と売り手の中でのデザイン・MD。	2後	30	2			○	△		○						○

		○	ビジネスデジタルⅠ	Microsoft Excel、Word、PowerPointを使用し、Office系ソフトウェアの使用方法を学びます。	2 後	15	1			○	○	○			
		○	ファッションショー企画Ⅰ	学年間・グループ間での打ち合わせや企画立案を通じ、コミュニケーション能力を高める。	2 後	15	1			○	△	○	○		
○			ライフデザイン④	球技大会や学園祭などその他イベントに向けての制作活動。及び企業連携・協同事業実習の為に校内外での活動をおこなう。企業連携ファッションショーなどの実習に取り組む。	2 後	30	1				○	○	○	○	
		○	夏期集中講座	通常授業にはない各専門分野に特化した授業内容を3日間の実習または講義形式で行う。	3 前	60	2				○	○		○	
		○	冬期集中講座	通常授業にはない各専門分野に特化した授業内容を3日間の実習または講義形式で行う。	3 後	30	1				○	○		○	
		○	SHR	学校生活における必要な連絡事項などをクラスごとに告知をする。	3	60	2				○	○		○	
		○	海外研修	イギリス、フランスを約2週間かけて、旅行をする。オプションでイタリアまで行く。各自グループになり、スケジュールは全て学生が決めて自分達で行動する。参加者は海外デザイン研究を履修し、事前にリサーチ、スケジュール作成などをして、研修後には報告会を実施する。	3 前	98	1					○	○	○	

		○	デザイン画表現Ⅳ	早描きやデフォルメを取り入れ、オリジナリティ溢れる作品製作方法を学ぶ。またクライアントイメージの具現化訓練のため、学内での取り組み成果を企業連携商品開発を通じて、実習・発表・企業評価を受ける。	3前	30	2			○	○				○	○
		○	アパレルCADⅣ	1年・2年で学習した平面から立体パターン制作の逆の考え方で立体(既製服)から平面のパターン制作を行う。	3前	30	2			○	○				○	
		○	ライフデザイン⑤	球技大会や学園祭などその他イベントに向けての制作活動。及び企業連携・協同事業実習の為に校内外での活動をおこなう。企業連携ファッションショーなどの実習に取り組む。	3前	30	1			○	○				○	○
		○	デニムソーイングⅣ	デニム、パターン、身頃の切替えによって、パーツが多くなるが、順序よく縫製の過程、名称を覚えて出来上がりにしていく。	3前	45	3			○	○				○	
		○	パターンゼミⅤ	パターンメイキング技術検定2級ガイドブックにそって、より専門的なファッション造形知識・技術と工業パターンメイキングに関する知識と技術を2級検定過去問題から学ぶ。	3前	45	3			○	○				○	
		○	ヘア・メイク・ネイルⅤ	1・2年生との複式授業である。常に基本を復習し、ゴールデンポジションを意識しながらイメージ別でヘア・メイクに取り組む。アクリル絵具、ストーンを使ってネイルアートを製作。ネイルア(検定3級)。学園祭ではヘア・メイクショーができるよう企画していく。	3前	45	3			○	○				○	
		○	ファッションデジタルⅣ	Adobe Illustrator・Photoshopを使用し、中級レベルのテキスト入力・レイアウト・写真画像処理・印刷などを学ぶ。各授業毎のテーマに従い、課題制作を完成させていく。	3前	15	1			○	○				○	

○		マーケット研究Ⅲ	消費者の意識変化、マーケットのとらえ方、調査分析の仕方。業界紙の読み方・発送方法とプレゼンテーションの仕方。グローバルの中作り手と売り手の中でのデザイン・MD。	3前	15	1	○	△	○	○				
	○	デニムパターンⅡ	実際に企業で使用されたパターンをもとにカバーオール、レディスGジャンのパターンを作成していく。	3前	30	2		○	○				○	
	○	海外デザイン研究	海外旅行ガイドブックや業者の資料をもとに、海外旅行日本とヨーロッパの出国と帰国の手続き(出発準備、出国帰国の流れ、帰国時機内持ち込みについて)、ヨーロッパの交通情報、現地情報等を学ぶ。トータル英会話では、毎回海外での状況を設定し(入国手続き、ホテルでの英会話、レストランでの英会話など)その状況に応じた簡単な英会話や注意事項、楽しむポイントなどを学習する。	3前	15	1	○		○			○		
	○	ファッションビジネス検定Ⅴ	ファッションビジネス能力検定2級対応テキストおよび、問題集を使用し「ファッションビジネス科目」を中心に講座を進める。検定対策として「ファッションビジネス能力検定2級問題集」にて復習をおこなう。	3前	30	2	○		○			○		
	○	美容検定Ⅲ	ネイリスト技能検定3級合格を目指して学習。ネイリストベーシックのマスター。ネイルケア、アート。メイクアップ技術検定4級合格を目指して学習。皮膚のしくみ、ゴールドプロポーション、顔の分析、色彩など基礎知識を学習。	3前	30	2		○	○				○	
○		立体裁断	トワールやシルクピンの扱い方、立体から製図をおこなうことができるように学習する。	3前	30	2		○	○				○	
	○	ドレスメイキングⅢ	ウェディングドレスのデザインからパターンメイキング、組み立てなど一貫した制作工程を学ぶ。ブライダルコーディネート技術を習得する。	3前	45	3		○	○				○	

		○	アイテムソーイングⅢ	シャツ、タイトスカートの工業用パターンを使用し、裁断方法や量産型の縫製手順を学び、技術を習得する。	3前	60	4			○	○	○		
		○	工業パターン演習	PM検定まではガイドブックの内容の理解を深めていく。PM検定終了後はテーラードジャケット（総裏付き）のファーストパターンを手作業で生地厚み分、内回り・外回りを加味した量産用工業パターンを作っていく。	3前	45	3			○	○		○	
○			インターンシップⅡ	夏期間の7月～8月にかけて、例年インターンシップ実習に取り組む。実習期間は5日～10日前後を設定。企業評価を受ける事を目的とする。	3前	15	1				○	○		○
		○	トラベル英会話	海外研修（ヨーロッパ）で楽しく、安全に過ごすため、簡単な英会話や注意事項、トラブル回避の方法などを学びます。	3前	15	1	○			○		○	
		○	ライフデザイン⑥	球技大会や学園祭などその他イベントに向けての制作活動。及び企業連携・協同事業実習の為に校内外での活動をおこなう。企業連携ファッションショーなどの実習に取り組む。	3後	30	1				○	○		○
		○	デザイン画表現Ⅴ	与えられたテーマに沿ったデザイン発想・表現を行う。就職を意識したデザイン企画を中心に、デザイン画を使ったデザイン企画書及びマップ製作方法を学ぶ。	3後	30	2			○	○			○
		○	アパレルCADⅤab	3年間の総まとめとして今まで学習してきた事を復習しながら基本的なタイトスカートのグレーディングを学習。	3後	30	2			○	○			○

○		マーケット研究Ⅳ	前期の学習内容をベースに具体的なマーケティング活動、まとめ、分析、プレゼンテーション力をつけて、相互の関係を理解し、最終の発表を行う。	3後	30	2	○	△	○			○
	○	ファッションショー企画Ⅱ	学年間・グループ間での打ち合わせや企画立案を通じ、コミュニケーション能力を高める。	3後	15	1	○	△	○			○
○		卒業制作①	前期の過程で決定したデザインに基づき、パターンメイキング、裁断、縫製、フィッティング、コーディネートまで1連の流れで制作をしていく。それと同時にショーの構成、音楽、演出、ヘアメイク等各担当がリーダーシップをとり、ショー全体の企画を行う。また企業連携・協同事業実習の為に校内外での活動をおこなう。企業連携ファッションショーなどの実習に取り組む。	3後	90	3			○	○		○
○		卒業制作②	前期の過程で決定したデザインに基づき、パターンメイキング、裁断、縫製、フィッティング、コーディネートまで1連の流れで制作をしていく。それと同時にショーの構成、音楽、演出、ヘアメイク等各担当がリーダーシップをとり、ショー全体の企画を行う。	3後	30	1			○	○		○
	○	パターンゼミⅥ	自分で持っているアイテムを持ってきてそれをパターンに起こす。パターンに起こすときの寸法、実際の縫製仕様を確認しながらの工業パターン化を目指す。	3後	45	3			○	○		○
	○	デニムソーイングⅤ	卒業制作ファッションショーの会場にて作品展示を目的とする。	3後	45	3			○	○		○ ○
	○	ファッションデジタルⅤ	Adobe Illustrator・Photoshopを使用し、前期での内容をふまえ、より高度かつ複雑な制作物に取り組む。	3後	30	2			○	○		○

		○	ヘア・メイク・ネイルⅥ	1・2年生との複式授業。3年生は総まとめとしてヘア・メイク・ネイルアートを自由な発想で取り組み写真撮影を行う。また、2・3年生合同でファッションショーへ向けてヘア・メイクの企画、提案をし、コミュニケーション力を学んでいく。	3 後	45	3				○	○						○	
		○	ビジネスデジタルⅡ	Microsoft Excel、Word、PowerPointを使用し、Office系ソフトウェアの使用方法を学びます。	3 後	15	1				○	○						○	
		○	ドレスメイキングⅣ	ウェディングドレスのデザインからパターンメイキング、組み立てなど一貫した制作工程を学ぶ。ブライダルコーディネート技術を習得する。	3 後	45	3				○	○						○	
		○	ショップ企画演習	基本的マーケティングショップおよび、ショップリサーチ用のテキストを使用する。ターゲットと店舗を決定後、マーケティングリサーチ、ショップリサーチを繰り返しおこなうことで、定点観察、シーズン別観察をおこなう。ターゲットショップを2店舗設定し、グラフィックソフトを使用してA3サイズのプレゼンボードを制作する。	3 後	30	2				○	△	○					○	
		○	サンプルメイキングⅡ	前期の工業パターンで作成したパターンを使用し、実際アパレル企業サンプル室で採用されている裁断、縫製手順、工程でジャケット1着を縫い上げることでサンプルメイキングに必要な知識・技術を学ぶ。	3 後	45	3				○	○						○	
		○	マーチャндаイジング演習Ⅱ	アパレル商品企画を通じてターゲット設定からデザイン企画まで、一連の流れを学びます。パソコンを使用して企画書類を作成します。	3 後	30	2				○	△	○					○	
		○	デニム素材加工Ⅱ	メインにオリジナル商品を開発し、そこに必要となる付属類までデザインし、プレゼンテーション資料まで作成していく。	3 後	30	2				○	○						○	○
合計					110科目	3968単位時間(225単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
進級・卒業には年間35単位以上及び当該年次における全必修科目の取得を要する。また、卒業には総計105単位以上の取得を要する。	1学年の学期区分	前期・後期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。